

4 愛防第 16 号
令和 4 年 5 月 31 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

発生予察情報の送付について
病虫害発生予察注意報（第 2 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和 4 年度 病虫害発生予察注意報（第 2 号）

令和 4 年 5 月 31 日
愛 媛 県

病虫害名 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)
対象作物 うめ、もも、キウイフルーツ、なし、すもも、かんきつ、かき等

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 本年のチャバネアオカメムシの越冬量は、県下 40 か所調査の平均値によると越冬虫数は、県全体では 0.93 頭/2m²（平成：1.05 頭/2m²）と平成並であったが、東予地域では 1.00 頭/2m²（平成：0.58 頭/2m²）とやや多となっていた（図 1）。
- (2) 県下 5 か所の集合フェロモントラップ調査では、2 地点で 5 月第 4～5 半旬に急増し、平成より多く誘殺されている（図 2）。
- (3) 5 月 26 日の 1 か月予報（高松地方気象台発表）では、気温は平成並か高いとされており、今後の気温上昇にともない越冬成虫（7 月頃まで生存）の果樹園への飛来数は増加してくるものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを終える。
- (2) かんきつでは開花期頃から園内への飛来が予想され、大量飛来は落花(果)被害を引き起こす恐れがあり、かきにおいても園地への飛来と被害には十分注意する。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (5) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従いただちに薬剤防除を行う。
- (6) 飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要である。
- (7) 薬剤は登録内容に応じて使用する（表 1）。なお、薬剤の種類によっては周辺作物や生物（魚・蚕・ミツバチなど）に影響を及ぼし、カイガラムシ類、ハダニ類の異常増殖（リサーチェンス現象）を生じる恐れがあるので選択に注意する。

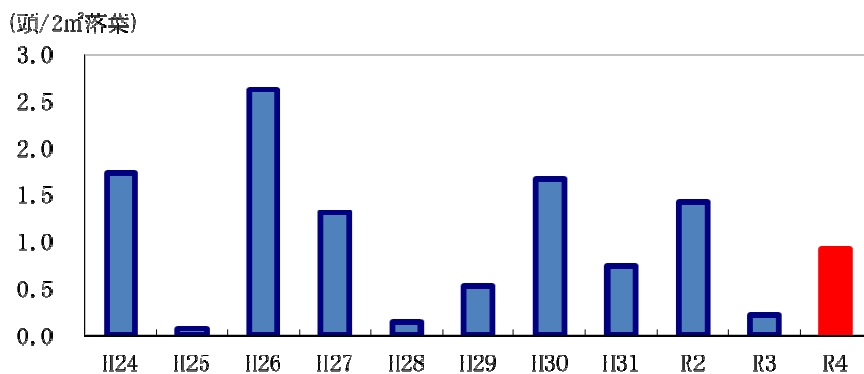


図1 チャバネアオカメムシの越冬量調査 (全県)

調査法：令和4年2月に、広葉樹の落葉2㎡(1㎡×2)分を加温した室内に置き、11日後生存虫数を調査

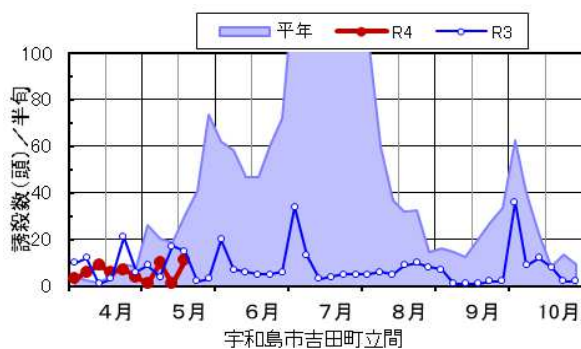
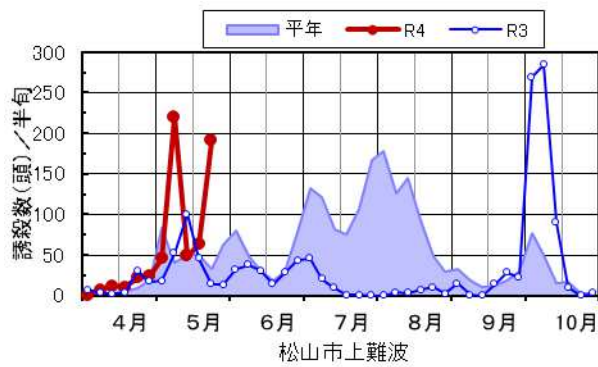
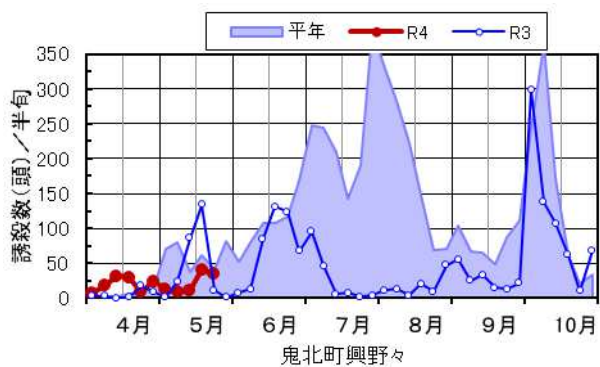
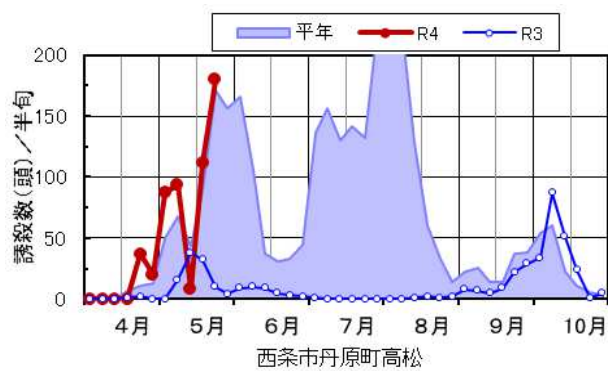
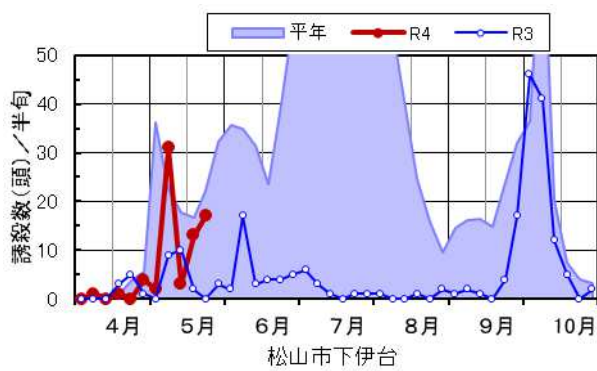


図2 集合フェロモントラップによる誘殺状況 (数字はチャバネアオカメムシ、ツアオカメムシ、クサギカメムシの合計値：半旬別頭数)

表1 主な防除薬剤一覧(令和4年度愛媛県農作物病害虫等防除指針より抜粋)

作物	IRAC コード	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	毒性	
						人毒	水産 ^{注2)}
うめ	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	スカウトフロアブル	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△※
もも	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫3日前まで	6回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	4A	アドマイヤーフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
	3A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
		アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	5回以内	劇物	×
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
キウイフ ルーツ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アディオン乳剤	2,000	収穫7日前まで	5回以内	普通	×
		アグロスリン乳剤	2,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×
なし	1B	スミチオン水和剤40	1,000	(無袋) 収穫21日前まで	6回以内	普通	△
				(有袋) 収穫14日前まで	6回以内		
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アグロスリン水和剤	1,500	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		スカウトフロアブル	1,500	収穫前日まで	5回以内	劇物	△※
		テルスター水和剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
		ロディー水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
すもも	4A	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
	3A	アグロスリン水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
かんきつ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	普通	△
	3A	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		モスピランSL液剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
		ロディー乳剤	2,000	収穫7日前まで	4回以内	劇物	×
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
かき	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫30日前まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	△
	4A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
	3A	ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
		アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		テルスター水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	×
		ロディー水和剤	1,500	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×
	3A+1B	パーマチオン水和剤	2,000	収穫30日前まで	3回以内	劇物	×
	2B	キラップフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	○

注1)IRACコード 4A:ネオニコチノイド系、3A:合成ピレスロイド系、1B:有機リン系、2B:フェニルピラゾール系

注2)水産動植物への影響(表記については令和4年度愛媛県農作物病害虫等防除指針P.8参照)

注3)アドマイヤー水和剤及びフロアブル剤は、露地栽培については発芽期から開花期までは除く